

質問事項	質問の要旨
<p>1 DX推進ビジョンと 具体的展開は</p>	<p>本年3月の施政方針において、「令和8年度はDXを進めていく」と力強く宣言されました。本町は震災後、全国に誇れるコンパクトシティを作り上げ、ハード面の復興を成し遂げました。この新しい町の基盤の上に、デジタル技術を活用して住民サービスを向上させるDXの取り組みは、女川町が次のステージへ進むための不可欠な「ソフト面のアップデート」であり、町長の方針を高く評価します。</p> <p>(1) DXを進めていくにあたっての推進体制と人材確保について伺います。</p> <p>(2) 高齢者にも優しい「書かない窓口」の導入など、DX推進により住民サービスの向上が図られると思いますが、推進する方向性について見解を伺います。</p> <p>(3) 町役場内のDXだけでなく、町内の民間事業者（水産業、観光業など）DXを進めるための支援策や、官民連携による地域DXビジョンについて、町長の考えを伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2 中東情勢による物価高騰対策</p>	<p>現在、女川町内の地域経済を支える中小・小規模事業者は、経営の存続に関わる極めて深刻な事態に陥っています。長引くコロナ禍からの回復途上にある中、それに追い打ちをかけるように、中東・イラン情勢の緊迫化等に端を発する歴史的な物価高騰が直撃しているからです。</p> <p>具体的には、電気、ガスなどの生活に欠かせない「エネルギー価格の高騰」、仕入れに直結する「食品、原材料の高騰」、そしてあらゆる「資材価格の高騰」が同時に押し寄せています。</p> <p>さらに、物価高による消費者心理の冷え込みで売り上げは伸び悩み、事業者側も「これ以上はお客さんに負担をかけられない」と適正な価格転嫁ができずに、ただ身銭を切って耐え忍んでいるのが実態です。コロナ融資の返済本格化が重なり、事業継続を諦める寸前まで追い込まれている事業者の悲鳴が、私の下にも多数届いており、このままでは町内の雇用が失われ、地域経済の活力が根本から奪われかねません。</p> <p>当面の資金繰りが円滑になるような負担軽減対策や高コスト時代に適応する省エネ・省力化投資の促</p>

質問者 官元 潔

質問事項	質問の要旨
	<p>進が必要と考えますが、現在の事業者に関する町の状況認識と合わせて伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>